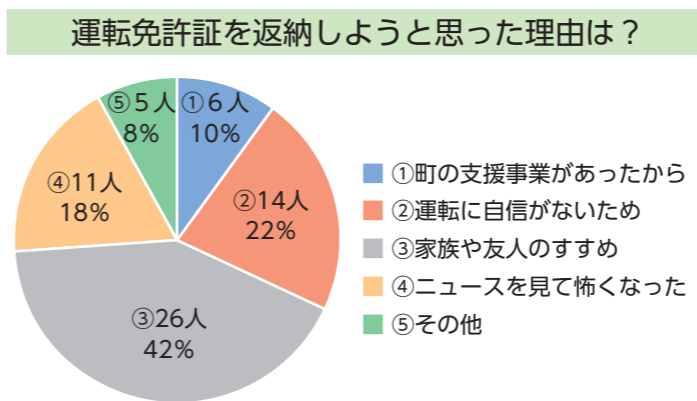


全国で高齢者を当事者とする交通事故が多く発生しており、山都町でも町内で発生した人身事故のうち高齢者の絡む事故が7割となっています。こうした背景のもと、高齢者の免許証自主返納が推進されています。

山都町では令和元年より、65歳以上の方で免許証を自主返納された方の、公共交通の利用促進と外出機会を創出するために、運転免許証を返納しやすい環境整備と返納後の支援事業を行っています。

平成31年4月1日から令和2年9月末時点で124名の方が免許証の自主返納をされており、うち90名の方が支援事業を受けられました。

今回、令和元年中に運転免許証を自主返納し、支援事業を受けられた方々へアンケート調査を実施しました。



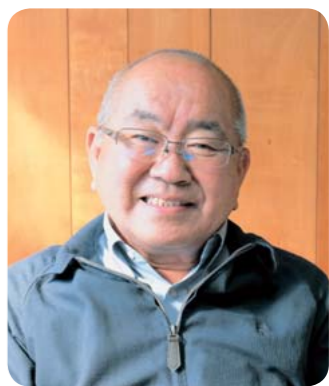
アンケートの声より

- ・タクシー券はとてもためになった。
- ・1年の期限内に利用券を全部使いきることができなかった。期限を延長してほしい。
- ・免許証を返納して不便にはなったが、返納してよかったと思う。
- ・家族のすすめで返納した。不便になったけど仕方がないと思う。

70歳以上で、免許証を更新する際は、高齢者講習を受けなければいけません。高齢者講習の中で特に伝えられているのが、「身体能力の低下の自覚」です。若い頃に比べ視力や反射神経などが低下しています。視力の中でも動体視力（動きながら物を視る視力・動いている物を視る視力）については、ほとんどの方が若い頃に比べ半減しています。この動体視力は車の運転中、正面や横から車や歩行者が来ていないか、どの位の速度で近づいてきているかなどを判断するとても大切なものです。

この動体視力の低下により、安全確認をしても車や歩行者を見落とし、対向車の速度を遅く感じ、対向車がいてもまだ大丈夫と思いついたところ、遠くにいたはずの対向車が近くまで来ていてヒヤッとしたり、事故につながることもあります。それから、夕暮れ時や夜間の視力が低下しコントラスト（明暗の差）が分かりにくいことも忘れてはいけません。

また、視野（目を動かさずに見える範囲）が加齢とともに狭くなると言われていますが、運転中は中心部への注意が強く、周辺部については見落としがちになります。そのため、



梅田勇二 山都地区交通安全協会会長/矢部自動車学校代表

どんなに運転手が進行方向に注意を払っていても、周辺部分にあたる道路端への注意が疎かになり、道路を横断している歩行者（特に道路右側寄り）の発見が遅れ事故に繋がっています。これから先、日没が早くなります。車は薄暮時の早めの点灯、歩行者は、反射材の着用や明るい服装で、自身の存在を運転者に早く気付いてもらうことが大切です。

山都町では車は生活の一部で欠かせない存在です。高齢者の方に「いつまで運転しますか？」と尋ねると「自分の運転に自信がないと思ったら辞めようと思う」と話される方がほとんどです。若い方に比べると、長年運転してきた分、運転に自信があると答える方が多いです。車の運転に関しては身体機能の衰えには中々自分では気づかないものです。周りの方から「あなたの運転は危ないですよ」と言われたら素直に耳を傾け、運転を控えられたらと思います。

山都町の交通事故ゼロを目指して

二宮和也山都警察署長へのインタビュー

山都町へ赴任してまず、山紫水明、朝3月の雪に天上を見上げ、地を見れば川底まで見通せる澄んだ豊かな水などに感激しました。何百年何千年と大事に守ってこられた皆様の御苦労を感じながら、山都で仕事ができることを本当に良かったと感じています。

山都警察署では皆様の安全安心を守るため防犯対策と交通事故対策の2点に大きく分けて活動を行っています。

○交通事故対策・・・当署管内の人身事故は、高齢者の絡む事故が7割、国道での発生が8割となっています。そのため我々の対策は国道での事故防止を中心に行っています。事故発生状況分析に基づいた取り締まりを徹底するとともに、各種キャンペーン等を通じたドライバーや歩行者に対する注意喚起を行っています。交通事故は当事者のどちらかが気付いていれば回避できるものがほとんどです。ドライバーも歩行者も油断しないことが大切です。

私は、山都町は交通事故ゼロを実現できると感じています。町民の皆様は、薄暮時以降歩行の際は、明るい服装や反射材を確実に身に付けていただき、



二宮和也山都警察署長

交通事故防止に努めていただきたいと思えます。また、当署では年末の各種警戒を強化してまいります。

○防犯対策・・・全国的に高齢者を対象に発生している「電話で『お金』詐欺」については、金融機関やコンビニなどに御協力を頂き、何件も未然に防ぐことができていることは素晴らしいことで、山都町の皆様の防犯力の高さに感服しています。引き続き、高齢者が電話をしながらの不審な入金やプリペイドカード購入など、詐欺を疑う状況があれば警察署へ通報頂きますよう、御協力をよろしく願います。

これから年末は物流や人々の流れが活発となり、交通事故以外にも、高齢者を狙った「電話で『お金』詐欺」や子ども・女性に対する声掛け事案が懸念されます。お子さんに集団登下校を促し、防犯グッズの電池や使い方の再確認等をお願いします。

山都町の交通事故ゼロを目指して

山都警察署、山都地区交通安全協会と山都警察署、役場総務課ではドライブレコーダーを1週間貸し出し、車に装着・運転・録画してもらい、その後ドライブレコーダーの映像を見ながら安全に運転できているか自動車学校の教官や警察官で確認する取り組みを無償で行っています。

最近、運転しながら「びっくりした！危なかった！」と思ったことはありませんか？また、自分の運転や家族の運転を心配に感じたことはありませんか？運転に不安を感じたり、免許証を返納すべきか悩んでいる場合の判断材料として、お気軽にご相談ください。

問合せ先 山都警察署、山都地区交通安全協会（山都署内） ☎ 72-0110
山都町役場総務課 ☎ 72-1111

タクシーって高額な乗り物？

タクシーは高額な乗り物なイメージがありますが、自動車を所有するための維持費とどの位差があると思いますか？

町内のタクシー利用料金と軽自動車の1年間の維持費を比較してみました。

集落から中心部への片道5～7キロを往復で利用する場合と仮定して計算してみました。また軽自動車を200万円で新車購入し10年間利用する場合を想定しました。

タクシーを月4回往復で利用した場合： 約20,000円
 軽自動車の1か月あたりの維持費： 約41,600円

タクシーの利用距離で変動はありますが、今回の試算ではタクシーの利用料金の方が安い結果となりました。

取材協力：JAF（一般社団法人日本自動車連盟）、山都警察署、山都地区交通安全協会、矢部自動車学校